

発行日:2017年11月25日

安全データシート

【1. 製品及び会社情報】

製品名 :ベルング 床用ウレタン剥離剤
 推奨用途 :床用ウレタン剥離剤 (液体)

会社名 : T Cユニオン株式会社
 住所 : 茨城県北相馬郡利根町押戸字城台1650-1
 TEL : 0297-68-8351
 ご相談窓口 : 取手営業所 営業部
 TEL : 0297-71-3121
 FAX : 0297-71-3120

製品番号(SDS NO) :

【2. 危険有害性の要約】

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性/引火性ガス	: 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性/酸性化ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分 4
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 区分外
自己発火性固体	: 分類対象外
自己発火性化学物質	: 分類できない
水反応性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類できない
酸化性固体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分 4
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性吸入(ガス)	: 分類対象外
急性毒性吸入(蒸気)	: 分類できない
急性毒性吸入(粉塵)	: 分類対象外
急性毒性吸入(ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1
眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 区分2
 全身毒性(単回暴露) : 区分3 (気道刺激性)
 全身毒性(反復暴露) : 区分1 (骨髄、脾臓、副腎、腎臓、呼吸器、肝臓)
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性
 水生環境有害性(急性) : 区分3
 水生環境有害性(慢性) : 分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 可燃性液体
 飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有害
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 呼吸器への刺激のおそれ
 長期にわたるまたは反復暴露による骨髄、脾臓、副腎、腎臓、呼吸器、肝臓への損傷
 水生生物に有害

注意書き

有害性情報、注意事項を読んでから取り扱うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
 必要に応じて個人用保護具を着用すること。
 保護眼鏡、保護手袋、長靴を着用すること。
 取り扱い後は水で洗い、うがいを充分に行うこと。
 衣類に付着した場合は速やかに水で洗い流すこと。
 容器を密閉して、直射日光を避けて所定の場所に保管すること。
 本品は業務用です。本来の用途以外に使用しないこと。
 環境への放出を避けること。
 廃棄する場合は、産業廃棄物として処理すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 製品説明 : 床用ウレタン剥離剤 (液体)

※含有危険有害性物質

成分名	ジエチレングリコール モノブチルエーテル	N-メチル-2-ピロリドン
含有量 (%)	10～15	20～25

CAS No.	1 1 2 - 3 4 - 5	8 7 2 - 5 0 - 4
P R T R 法	非該当品	非該当品
安衛法 表示・通知義務対象物質	No. 2 4 4 の 3	No. 5 8 8 n o 2
毒物及び劇物取締法	非該当品	非該当品

【4. 応急措置】

眼に入った場合	直ちに多量の水で十分洗浄し、速やかに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗浄し、刺激が残るようであれば医師の診察を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせる。状態によっては医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませて吐出させる。その後、医師の診察を受けさせる。

【5. 火災時の措置】

消化方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 また、延焼のおそれの無いように水スプレーで周辺を冷却する。
消火剤	: 水、粉末、アルコール、耐アルコール泡等。
特有の消火方法	: 周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所へ移動する。 移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動の際には必ず保護具を着用する。

【6. 漏出時の措置】

少量の場合は、土砂またはウエス等に吸収させて空容器に回収する。
 多量の場合は、河川、海洋などへ流出を防止し、漏洩物はできるだけ回収した後、大量の水で洗い流し、洗浄水は河川等に排出されないように注意し、出来るだけ回収する。

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い	: 取り扱い時は保護具を着用する。
貯蔵	: 直射日光を避けて保管する。

【8. 暴露防止及び保護措置】

管理濃度	: データなし
許容濃度	: データなし
設備対応	: 排気設備 …… 局所
保護具	: 呼吸用保護具 …… 保護マスク
	: 保護眼鏡 …… 保護メガネ
	: 保護手袋 …… ゴム手袋
	: 保護衣 …… 長袖等

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	: 黄色透明液体
臭い	: アミン臭
臭いのしきい (閾) 置	: データなし
pH	: 1 1 . 4 (2 5 ° C)
融点・凝固点	: データなし
初留点および沸点範囲	: データなし

可燃性	: データなし
引火点	: 78℃
発火性	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
比重	: 1.01 (25℃)
溶解度	: 易溶
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
燃焼性 (固体、ガス)	: データなし
分解温度	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

化学的安定性	: 安定
危険有害反応性の可能性	: 酸と反応する。非金属を腐食する。
避けるべき条件	: 加熱、火源
混触危険物質	: 酸性物質、強酸化剤
危険有害性のある分解性生物	: 有害ガス (一酸化炭素、窒素酸化物) のおそれ

【11. 有害性情報】

(人についての疫学的情報を含む)

急性毒性 (経口)	: 換算値 LD50 = 1863 mg / kg
急性毒性 (経皮)	: 換算値 LD50 = 1802 mg / kg
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚腐食性/刺激性カットオフ値より区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性カットオフ値より区分1とした。
生殖毒性	: 生殖毒性カットオフ値より区分2とした。
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) カットオフ値より区分3 (気道刺激性) とした。
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) カットオフ値より区分1とした。

※有害性情報については各成分についての情報がある場合に示す。

混合物についての情報は特に有していない。

【12. 環境影響情報】

水性環境有害性 (急性)	: 水性環境有害性 (急性) カットオフ値より区分3とした。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
他の有害影響	: データなし
環境基準	: データなし
その他	:

【13. 廃棄上の注意】

産業廃棄物として、許可を受けている業者に引き取らせる。

【14. 輸送上の注意】

国連番号 : 3 2 6 7
国連品名 : その他の腐食性物質（液体、有機物、アルカリ性のもの）
輸送における危険有害性クラス : クラス 8
容器等級 : II / III
海洋汚染物質 :
安全対策 : 容器の破損、漏洩に注意する。

【15. 適用法令】

消防法 : 危険物第 4 類第 3 石油類（水溶性）
毒物及び劇物取締法 : 非該当
有機則 : 非該当
特化則 : 非該当
安衛法 表示・通知義務対象物質 : 政令 No. 224 の 3（ジエチレングリコールモノブチルエーテル）
: 政令 No. 588 の 2（N-メチルー 2-ピロリドン）
P R T R : 非該当
水質汚濁防止法（有害物質） : 非該当
その他 :

【16. その他の情報】

この情報は新しい知見および試験等により改定される事があります。
記載内容はデータシート作成時点での知見に基づくものですが、
保証値ではありません。また、危険有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので
取り扱いには注意してください。
※空欄部分は該当しない場合、または知見なしを示す。